

生きがい・健康・仲間づくりで 明るく豊かなシニアライフを!

大府市老人クラブ連合会
設立50周年記念事業
特集記事

大府市老人クラブ連合会(以下、市老連)は、市内に在住する60歳以上の高齢者の「生きがいづくり」「健康づくり」「仲間づくり」「社会活動」を促進することを目的として、昭和39年11月に発足しました。

市老連では、「健康」「友愛」「奉仕」「交通安全」を理念として、市民のシニアライフを応援し、「高齢者の生きがいと健康を支え、住みやすい地域をつくる」ために、さまざまな事業を展開しており、発足当時は19クラブだった単位数も、現在は71クラブとなり、約4,300人が活動しています。活動内容は、趣味や芸能活動の生きがいづくり、健康体操やシニアスポーツなどの健康づくり、ふれあいの旅や推進大会などの仲間づくりなど、幅広く活動しています。また、神社や公共施設などの清掃や児童の登下校の見守りなどの社会奉仕活動や、昔遊びや農業体験などを通しての多世代交流事業など、地域の特性に合わせた活動も活発に行っており、会員同士だけでなく、地域とのつながりを持ち、充実したシニアライフとなるように取り組んでいます。

大府市老人クラブ連合会設立50周年記念事業を実施しました! 今年度に、設立50周年という記念の年を迎え、さまざまな記念事業を開催しました。



記念植樹の様子



記念誌の発行

記念植樹

50周年記念として、平成26年4月11日に、市庁舎の市民健康広場にヤマモモを植樹しました。久野市長をはじめ、多くの関係者がつどい、市老連のますますの発展に願いを込めました。

記念誌の発行

50周年記念として、市老連の沿革、取り組みの紹介、今後の展望、市長と役員による記念対談(カジュアルトーク)、アルバムなどを掲載した記念誌を4,500部発行しました。

設立50周年記念大会&芸能大会

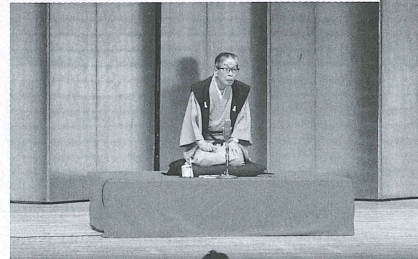
平成26年10月9日に、大府市勤労文化会館もちのきホールにて、設立50周年記念大会&芸能大会を開催し、会員約900人が参加しました。記念式典では、多年にわたりクラブの活性化ならびに発展に大きく寄与された人やクラブへの表彰、記念品の贈呈を行いました。

記念式典後は、「笑って健康! ~明るい未来は笑いから~」と題し、落語家の三遊亭円丈氏による記念講演を行いました。終始笑いの絶えない講演と落語で大盛況のうちに幕を閉じました。

芸能大会は、会員による舞踊や詩吟、カラオケなど、日頃の活動の成果を披露する場として開催し、今後、文化・芸能活動をしていく上での更なる活力とすることができました。



記念式典の様子



記念講演の様子

更なる高齢社会に向けて

超高齢社会を迎え、地域に根ざした活動を展開してきた市老連は、今後の「福祉のまちづくりの担い手」として期待されています。設立50周年を迎えた今年度には、新たな試みとして組織の改編を行い、継続的な組織運営と戦略的な事業展開について検討する組織などを設置しました。この組織では、時代に沿った事業の展開として、ニュースポーツの導入や、会員の加入を促進するための事業やサークル活動の検討、クラブ活動のPR方法について協議を進めています。

市老連では、今後の50年を見据えた活動を展開することにより、大府市で暮らす全ての高齢者、多世代が交流し、仲間と出会い、生きがいを持って活動できるように、明るく豊かなシニアライフを送れるクラブを目指しています。